

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

鳥取市立面影小学校（鳥取県）【指定校】

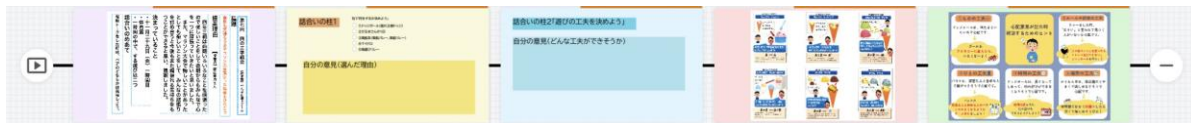
【GIGA×指導の工夫・改善】全員が安心して意見を言える学級活動（1）をめざして

学級活動（1）での話し合いを円滑に進めていくために、学習支援ソフトで意見の言い方の例や合意形成のプロセスの例を提示したり、それぞれの意見を他者参照できるようにしたりするなどの工夫を取り入れた。

年度当初、学級会の話し合いの場では、友達の意見が最後まで聞けず口を挟んでしまう児童や、自分の意見が明確にもてず発言が多い児童の意見に流されてしまう児童が多かった。

そこで、学習支援ソフトに貼った支援カードで意見の言い方の例や合意形成のプロセスの例を話し合い中に見ることができるようになり、自分の意見をカードに書き、提出ボックスに送信して友達の意見を見ることができるようになり、そのような手立てを取り入れた。そうすることで、話し方や聞き方を意識して話し合う姿や、自分の意見を積極的に相手に伝えようとする姿が多く見られるようになった。

学習支援ソフトのカードを活用した話し合いをすることを通して、児童は相手意識をもちながら、一人一人が課題意識をもって主体的に話し合いに参加する力が高まってきたと考える。今後も、学年や児童の実態に合わせて必要な手立てを講じ、話し合い活動の充実につなげるようにしていきたい。



話し合い活動中に見やすいよう、カードを連ねた状態でボードに置いている。

話し合いの柱1

柱1「何をするか決めよう」

- ① ドッジボール(隠れ王様ドッジ)
- ② なだまさんの1日
- ③ 風船系(風船/ハレー、風船リレー)
- ④ 保ウイードロ
- ⑤ 輪運びリレー

自分の意見(選んだ理由)

話し合いの柱2「遊びの工夫を決めよう」

自分の意見(どんな工夫ができそうか)

話し合いの柱1、2での自分の意見をカードに書いておくことで、自分の意見を明確に持ったり、相手の意見を知って参考にしたりすることができる。

